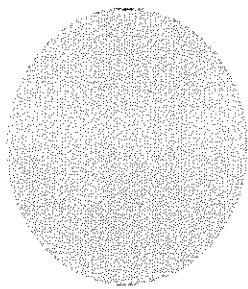


平成22年度（平成21年度対象）

内灘町教育委員会
点検・評価報告書



平成22年12月
内灘町教育委員会

平成20年4月から「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）」の一部改正が施行され、各教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進と町民への説明責任を果たすため、法第27条の規定に基づき、平成21年度事務の管理及び執行状況について学識経験者の知見を受け、点検・評価を行ったものです。

内灘町教育委員会は、今後も町民の皆様が生涯にわたって学び続けるための教育環境の整備・充実を図ると共に、子どもたちに「生きる力」を育む教育の推進に努力してまいります。

平成22年12月

内灘町教育委員会

教育委員会委員名簿

職名	氏名
委員長	村田博子
委員長職務代理	田村兼人
委員	小島晶子
委員	菅原総子
教育長	西尾雄次

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

I	はじめに	1
II	学校教育に関する点検・評価の結果	
	1. より良い学校づくりの推進	
	①教育環境の充実	2
	◆学校施設整備事業	
	◆学校給食管理事業	
	②幼保小連携の推進	3
	◆幼保小連携推進事業	
	③環境教育の推進	4
	◆環境教育推進事業	
	④個性ある学校づくりの推進	4
	◆町教育推進事業	
	⑤学校評議員会の設置	5
	◆学校評議員会の設置	
	⑥危機管理体制の充実	5
	◆学校ネットシステム導入事業	
	2. 基礎学力の習得・充実	
	①学習マナーやルールの指導充実	6
	◆小学校1・2年生の30人学級	
	②英語教育の充実	6
	◆小学校英語教育推進事業	

③本に親しむ環境づくり	7
◆図書司書配置	
④障害のある児童に対する教育の充実	7
◆特別支援教育支援員の配置	
⑤教育相談体制の充実	8
◆適応指導教室運営事業	
◆心の教育相談員の配置	
3. 就学前教育支援制度の充実	
①就園奨励費補助金・運営費補助の継続実施	9
◆私立幼稚園就園奨励費補助金	
◆私立幼稚園運営費補助金	
III 社会教育・生涯学習に関する点検・評価の結果	
1. 社会教育の充実	
①青少年健全育成事業	10
◆豊かな心を育む内灘町民会議の設置	
◆青少年問題協議会の開催	
◆少年補導員会議の開催	
◆常勤補導員の町内巡回	
◆少年補導員の町内巡回	
②式典の開催	12
◆成人式	
◆立志式	
③交流事業の推進	13
◆世界の凧の祭典	
◆子ども凧遊び大会	
◆内灘砂丘フェスティバル	
◆町民夏まつり	
◆姉妹都市交流事業	

2. 生涯学習の振興	
①地区公民館事業	15
◆地区公民館補助事業	
◆地区公民館施設改修	
②学習機会の充実	15
◆社会教育関係団体への支援（補助金一覧）	
◆学びの風推進協議会	
◆高齢者学級	
◆内灘砂丘文芸スクール	
◆陶芸教室	
◆働く女性の家事業	
◆国際交流事業	
③図書館	18
◆図書館事業費	
3. 芸術文化の高揚	
①芸術文化の振興	19
◆アカシアロマンチック祭	
◆内灘町美術展・内灘町ジュニア美術展	
◆内灘町総合文化祭	
◆内灘町文化会館事業	
②文化財の保護	20
◆指定文化財	
◆伝統文化、芸能の伝承	
4. スポーツ活動の振興	
①スポーツ活動の推進	21
◆町民体育祭	
◆総合体育大会	
◆県民体育大会	
◆チビっ子スポーツ教室	
◆スポーツ振興補助金内訳	

②スポーツ施設の整備・充実	22
◆体育施設整備事業	
◆体育施設管理委託事業	
IV 学識経験者の知見の活用	25
V その他資料	29
①教育委員会委員	
②教育委員会の組織	
③教育委員会活動の概要	
④教育委員会開催状況	
⑤平成21年度学級編成表	
⑥平成21年度生涯学習課事業一覧	

《内灘町教育基本方針》

内灘町は、教育基本法の精神に基づき、それぞれの個性を認め合い公共の福祉を尊重するとともに、生涯を通じ真理を追究し平和を愛する心豊かな人間の育成と、郷土の歴史や自然に根ざした豊かな文化の創造を目指し、未来を切り拓く教育を進めるため基本方針を以下のとおり定める。

1. 人の命の尊さと個性を尊重し、主体的に学び、たくましく生きる児童生徒の育成
2. 学校・家庭・地域が協力し合い、思いやりに満ちた教育力豊かな地域社会の創出
3. 潤いと生きがいに満ちた人生を過ごすための学習機会の充実と生涯スポーツの推進
4. ふるさとの歴史や伝統を愛し、豊かな地域文化の創造
5. 地域間交流や国際交流といった、豊かな体験を通じた活気に充ちたまちづくりの推進

I はじめに

1. 経緯

平成18年12月の教育基本法の改正及び平成19年3月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下「地教行法」という。)が改正され、平成20年4月から施行された。

今般、地教行法の改正目的である「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして、同法第27条の規定に基づき、本年度から教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(以下「点検・評価」という。)を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられた。

2. 目的

教育委員会は、首長から独立した立場で、地域の学校教育、社会教育等に関する事務を担当する行政機関として、すべての都道府県及び市町村が設置している行政委員会である。その役割は、専門的な行政官で構成される事務局を、様々な属性を持った複数の委員が合議により指揮監督し、中立的な意思決定を行うものとされている。

地教行法第27条の規定に基づき教育委員会が行う事務の点検・評価は、教育長以下の事務局を含む広い意味での教育に関する事務を管理及び点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としている。

3. 対象事業の考え方

平成21年度分の事業実績を対象とし、その対象範囲は、学校教育に関すること、社会教育に関することなど地教行法第23条で「教育委員会の職務権限」として規定されている事務をはじめ、町長の補助執行として行っている事務を含む、本委員会が所管するすべての事務とした。

事業のまとめ方については、第四次内灘町総合計画の基本計画に定める事業に基づき、教育委員会が行っている主な事業を選定した。

4. 学識経験者の知見の活用

地教行法第27条第2項の規定による有識者の知見の活用については、教育委員会事務局が行った事務の管理及び執行の状況について、選任した学識経験者から意見を聴いた。

II 学校教育に関する点検・評価の結果

◎ 平成21年度重点目標

- (1) 「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育の推進
- (2) ふるさとの自然を愛し守る心を育てる環境教育の推進
- (3) 地域・家庭・学校・行政の連携による教育環境づくり
- (4) 国際化の進展に対応した小学校英語教育の充実

1. より良い学校づくりの推進

①教育環境の充実（平成21年度重点目標（3））

小中学校施設の改修や耐震化工事等を実施し、教育環境の整備充実を図る。

平成21年度の主な取組

◆学校施設整備事業(478,153,305円)

[小学校]

・西荒屋小学校耐震・大規模改修工事（校舎耐震補強他）	255,517,500円
・大根布小学校増築工事（普通教室2クラスおよび職員室の増築）	81,742,500円
・各小学校に5kwの太陽光発電設備を設置	34,986,000円
・各小学校に50インチの地上デジタルテレビを設置（72台）	19,572,000円
・各小学校に50インチの電子黒板を設置（14台）	17,052,000円
・向小と鶴小のコンピュータ教室にパソコンを設置（82台）	18,690,000円
・理科備品購入	7,405,020円
・図書購入	2,917,488円

[中学校]

・50インチの電子黒板を設置（15台）	18,270,000円
・理科備品購入	5,099,220円
・図書購入	1,399,763円

*平成21年度末 耐震化率 = 100% (30棟/30棟)

評価

西荒屋小学校校舎の耐震補強工事を実施したことにより、町内全ての小中学校において耐震補強が終了し、安心して安全な校舎を整備することができた。また、国庫補助金や地域活性化・経済危機対策臨時交付金等を活用し、地上デジタルテレビ・電子黒板・教育用コンピュータ等を整備したほか、学校図書や新学習指導要領完全実施に向けて教材備品等の整備充実が図れた。

◆学校給食管理事業（216,412,841円）

- ・子どもたちの心と体を豊かに育むための食生活習慣の形成を基本に、学校給食を食に関する生きた教材として活用できるよう、栄養バランスのとれた給食提供を行う。
- ・職員及び調理員の安全衛生教育を行う。

（単位：円）

項目	給食実施食数	1食当り単価		賄材料費
平成21年度	2,795食/日	小学校 260円	中学校 305円	145,241,061円

評価

学校給食にあつては、施設の衛生管理を徹底し、児童生徒にバランスのとれた所定の栄養を確保した食事を提供している等、良好な給食運営を行っています。今後は、日常生活の食事に対する正しい食習慣を養うため、食の安全確保や、旬の地元食材の提供など「地産地消」などの取り組みが必要であると考えます。

②幼保小連携の推進

幼児・児童に豊かな心と生きる力を育む。

平成21年度の主な取組

◆幼保小連携推進事業（250,000円）

未就学時から就学への円滑な引継ぎが行われるよう、幼稚園・保育所(園)と小学校が連携して、幼児と児童、保育士と教師、保護者の交流を通して相互理解を深め、幼児・児童に豊かな心と生きる力を育む。

- ・幼児と児童の交流活動、また様々な人との交流による体験活動を行った。
- ・保育士と教師の連絡会の開催、保育参観や授業参観を行った。
- ・教師、保育士、保護者を対象にした講演会や合同研修会の実施。

評価

幼児・児童それぞれの発達段階における理解が深まるとともに、保育・教育活動の充実や改善を図るための参考となった。

今後も、幼稚園・保育所(園)と小学校が連携した取組が必要であると考えます。

③環境教育の推進（平成21年度重点目標（2））

内灘町立学校のエコ活動の推進を図る。

平成21年度の主な取組

◆環境教育推進事業（449,365円）

学校教育における環境教育を一層推進するため、エコスクール推進計画を策定し町立学校のエコ活動の推進を図る。

- ・ 鶴ヶ丘小学校をエコ活動推進モデル校に指定し、身近な環境活動及び省資源活動を通じて環境教育モデル事業の調査研究を実施した。また、環境フォーラム連携校の大根布小学校では、河北潟水質浄化研究の実践校として町民フォーラムで研究発表を行った。
- ・ 学校教育研究会において、エコスクール推進・認定の手引き「内灘町エコスクール推進計画」を作成した。

評価

「内灘町エコスクール推進計画」を作成し、次年度から町内全小中学校で実践できるよう期待する。

学校で環境教育を推進することにより身近なエコの取組を身につかせ、家庭でも実践し、地域にも浸透した取組みになることが必要であると考えます。

④個性ある学校づくりの推進（平成21年度重点目標（1））

児童生徒へ芸術文化に親しむ支援、部活動等に対する支援をはじめ、様々な体験を通じ、自ら考え自ら学ぶ為の機会を与える。また、教職員の資質向上を図る為、各種検討委員会に対し支援を行う。

平成21年度の主な取組

◆町教育推進事業（17,570,459円）

（単位：円）

補助金名	金額
町学校教育研究会補助金	888,563
町校長会教頭会補助金	285,000
部活動奨励補助金	900,000
教育研究推進校補助金	983,236
児童生徒芸術文化振興補助金	1,144,046
生活指導奨励補助金	350,000
体育文化振興費補助金	2,000,000
大会出場補助金	7,553,210
地域と共に「わく・ワーク体験」事業補助金	279,744
体験学習推進事業補助金	1,329,895
環境教育推進実践研究事業補助金	449,365
児童生徒「活用力」向上モデル事業補助金	1,017,400
外国語活動実践研究事業補助金	390,000

評価

外国語活動における教材の効果的な活用と評価の在り方等を研究する、外国語活動実践研究事業が新設され、外国語活動や他教科を通して伝え合おうとする児童の姿を育てることに役立った。また、児童生徒「活用力」向上モデル事業により、児童生徒の「活用力」を高める実践研究を行ったほか、環境教育推進実践研究事業では、「内灘町エコスクール推進計画」の策定や環境教育が一層推進される等の成果が見られた。

教育研究推進校補助金によって校内研究の充実が図られ、また児童生徒芸術文化振興補助金によって演劇鑑賞やオーケストラアンサンブル鑑賞など質の高い芸術に触れる機会を提供しており、内灘町ならではの個性的な教育活動を展開している。さらには、大会出場費補助金や体育文化振興補助金によって多様な部活動への支援が行われ、たくましく豊かな心で主体的に生きる児童生徒の育成がなされている。

今後も、時代とともに変化する教育ニーズを的確に捉え、児童生徒の情緒面などの心の教育の活動に精力的な支援を行っていくことが必要であるとする。

⑤学校評議員会の設置（平成21年度重点目標（3））

開かれた活力ある学校づくりの推進を図る。

平成21年度の主な取組

◆学校評議員会の設置（420,000円）

各小中学校において学校評議員会を設置し、学校長の求めに応じて学校経営等について協議し助言及び協力等の、支援を行った。

- ・学校長は、地域への情報公開、地域は学校長の求めに応じて学校への支援を行い、開かれた学校づくりを推進する。

評価

学校長は学校運営について説明を行い、評議員から幅広く意見を聞き、地域全体からの支援・協力を得てより一層地域に開かれた学校づくりが推進できた。

⑥危機管理体制の充実（平成21年度重点目標（3））

児童生徒の安全を確保するため、各種の安全施策を講じる。

平成21年度の主な取組

◆学校ネットシステム導入事業（1,224,300円）

学校・家庭・地域を結び、安心と安全を確保する学校ネットワークを構築する。不審者情報等の緊急情報を携帯電話へ一斉メール配信するなど、保護者や関係者にタイムリーな情報提供を行い、地域ぐるみで児童生徒を見守る。

〈発信状況〉

- ・不審者情報 13件
- ・学校行事等のお知らせ 297件

〈保護者登録割合〉

- ・小学校 95.4%
- ・中学校 84.1%

評価

不審者情報等を適時に発信しており、保護者や地域で速やかに児童生徒への見守りができている。そういった取組みに対し保護者からも安心ができるとの好評を得ており、安全のネットワークが構築されている。今後も、地域全体で児童生徒の安全確保に努めて行くことが必要であるとする。

2. 基礎学力の習得・充実

①学習マナーやルールの指導充実（平成21年度重点目標（1））

生活習慣や学習の基礎基本をしっかり身につけさせる。

平成21年度の主な取組

◆小学校1・2年生の30人学級（9,403,200円）

- ・文部科学省基準：1学級40人以下
- ・石川県の取組み：小学校1・2年生の35人学級の教員配置
- ・内灘町の取組み：小学校1・2年生の30人以下の学級編成

〈町費負担講師の配置〉

向粟崎小学校2年 69名 標準学級数 2クラス → 3クラス（町費負担講師 1名配置）

清湖小学校2年 65名 標準学級数 2クラス → 3クラス（町費負担講師 1名配置）

鶴ヶ丘小学校2年 69名 標準学級数 2クラス → 3クラス（町費負担講師 1名配置）

評価

小学校生活の始期である1・2年生一人一人にきめ細やかな指導を行うため、30人以下で学級編成を行っている。少人数指導を行うことで、早い時期に学校になじみ、生活習慣や学習の基礎基本をしっかり身につけさせることができた。

保護者からも、評価を得ており、今後もきめ細やかな指導を行って行く必要があるとする。

②英語教育の充実（平成21年度重点目標（4））

国際化の進展による外国語、とりわけ英語の語学力の必要性が高くなっており、より早い段階から英語に慣れさせるため、小学校からの英語教育を実施する。

平成21年度の主な取組

◆小学校英語教育推進事業（8,968,987円）

平成19年度から実施。

〈英語活動〉 小学校1、2年生 年間 10時間

小学校3～6年生 年間 35時間

外国語指導助手(ALT・日本人各1名)2名、英語講師3名を配置。

評価

子どもたちは、ALT や英語講師などの外国人に対して、できる範囲で積極的に英語を話せるようになった。また、T・T（ティームティーチング）による指導で担任教諭も英語教育に積極的に取り組んでいた。今後も、子どもたちが英語に慣れ親しむことができる、無理のない指導を行い、さらに英語教育を充実させていきたい。

③本に親しむ環境づくり

学校図書室に図書司書を配置する。

平成 21 年度の主な取組**◆図書司書配置（4,342,950 円）**

素晴らしい本との出会いにより、子どもたちは言葉を学び、表現力を高め、創造力を豊かにし、そして感性を磨いていくことができます。子どもたちの健全な心を育むため、学校図書室に図書司書を配置し、いつでも本に親しめる環境づくりの推進を図る。

小学校 4名 配置

中学校 1名 配置

学校図書館貸出状況

（単位：冊/人・年）

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
平均貸出冊数	36.0	43.6	52.5

評価

図書司書の配置後は、学校図書室を利用する児童生徒が増えるとともに、一人当たりの読書冊数が増加した。今後も「子どもが本に親しむ環境づくり」を支援できるように取り組む必要があると考える。

④障害のある児童に対する教育の充実

特別支援学級や、通常学級の障害のある児童生徒を支援するため、町採用の支援員を配置する。

平成 21 年度の主な取組**◆特別支援教育支援員の配置（9,500,400 円）**

小学校 6名

中学校 3名

評価

近年、小学校や中学校の通常学級において、軽度発達障害や注意欠陥他動性障害などで、学習や行動面で支援を必要としている児童生徒が増えてきている。町採用の支援員を学校に配置することで、個々のケースに応じた支援を行い、クラス全体が落ち着いた環境の中で授業に取り組むことができるようになった。今後も引き続き、支援を要する児童生徒への支援を行って行くことが必要であると考えます。

⑤教育相談体制の充実

心のケアを必要とする子や不登校の児童生徒に対しての、相談支援体制の充実を図る。

平成21年度の主な取組

◆適応指導教室運営事業（2,736,217円）

不登校の児童生徒に対して、町教育センター内での弾力的な指導を行い、一人一人に対しきめ細やかな指導を行い、学校復帰を支援する。

不登校など心のケアを要する児童生徒やその保護者にスクールカウンセラーがカウンセリングを行う。

	項 目	平成21年度
教育相談状況	ステップ通室生人数	7
	来所相談件数	125
	出張相談件数	54
	電話相談件数	60

◆心の教育相談員の配置（3,510,125円）

保健室登校等、教室に入れない生徒の相談にのり、一人ひとりに対しよりきめ細やかな支援体制をとり、いずれは教室に戻る事が出来るよう教育相談室（エール）で支援を行う。

- ・心の教育相談員 3名配置（20年度より2名増）

評価

学校に行けない児童生徒に対し、個々の状況に応じた弾力的な指導を行い、集団に適應できるように、支援している。

また、県内一のマンモス校の内灘中学校では、不安や問題を抱えた生徒が少なからずいると思われ、そうした生徒の相談や心のケアを行い、すべての子どもたちに教育の機会が確保されるよう、今後も支援を続けて行くことが必要であると考えている。

3. 就学前教育支援制度の充実

①就園奨励費補助金・運営費補助の継続実施

幼児教育の充実を図るため、幼稚園の保護者や園に対し補助する。

平成21年度の主な取組

◆私立幼稚園就園奨励費補助金（13,919,000円）

町内に在住で、私立幼稚園に通園させている保護者で、一定の所得基準以下の保護者の負担を軽減するため、幼稚園を通じて、保育料・入園料の一部を補助する。

（単位：人・円）

項 目		平成21年度	
対象園児	町 内	1 園	96
	町 外	1 1 園	66
	計	1 2 園	162
補助金額		13,919,000	

◆私立幼稚園運営費補助金（1,610,000円）

町内の私立幼稚園の運営を補助する。

- ・ 1園につき 1,000,000円
- ・ 園児1人につき 5,000円

※ 平成21年度 1園、122人

評価

家庭の所得状況に応じて保護者の経済的負担の軽減を図るために就園奨励補助を行い、また、健全な運営が行えるように、町内の幼稚園に対し運営費補助を行い、幼稚園教育の振興に寄与している。今後とも、園の経営状況を見据え支援を行っていくことが必要であると考え。

Ⅲ 社会教育・生涯学習に関する点検・評価の結果

◎ 平成21年度重点目標

- (1) 家庭と地域における教育力の向上
- (2) 健康づくり事業の構築と生涯スポーツの推進
- (3) 町民の参画と協働による事業の推進
- (4) 生涯学習ネットワークを生かした町民の学習機会の創出
- (5) 住民サービスの向上と効率的な施設管理の推進

1. 社会教育の充実

① 青少年健全育成事業（平成21年度重点目標（1））

子どもたちの「豊かな心を育む」教育を、内灘町の特徴や地域性を生かし、学校・家庭・地域社会が一体となり、地域の教育力の活性化を通じ、総合的な推進を図る。また、すべての人々の人権が真に尊重される社会の実現を目指し、人権問題に対する理解と認識を深めるようにする。

平成21年度の主な取組

◆豊かな心を育む内灘町民会議の設置

豊かな心を育む内灘町民会議			
代表者会(各委員長・副委員長)			
人権教育推進委員会	体験学習推進委員会	学校家庭支援委員会	情報通信教育委員会

【代表者会】(委員10名、2回)

- ◎町民会議全体に関わる事項の審議、4専門委員会の連携、情報交換
- 全体事業…グッドマナーキャンペーン、事業収録冊子の全戸配布

・人権教育推進事業

【人権教育推進委員会】(委員8名、年3回)

- ◎障害者・高齢者との交流活動、人権問題に関する学習機会の提供
- 講習会・講演会 …障害者の人権講話
- 交流教室・体験教室 …手話体験教室、視覚障害者との交流教室、点字体験教室、親子の手紙、絵手紙づくり交流教室「障害者との交流」
- CAPセミナー「子どもへの暴力防止」

・体験学習推進事業

【体験学習推進委員会】(委員8名、3回)

- ◎自然体験、親子共同体験事業
- 内灘夢教室 …環境学習、キス釣り、星の観察、昆虫観察、民話や方言、昔あそび体験、白鳥・野鳥観察
- 親子工作教室 …おもしろ工作、折紙教室、木工教室、絵手紙教室、子ども模型飛行機教室、風船アート

○親子体験教室 …親子凧作り教室、親子パソコン教室、親子和太鼓教室、親子料理教室、親子茶道教室、親子人形劇鑑賞会

・学校家庭支援事業

【学校家庭支援委員会】(委員8名、3回)

◎地域から学校への支援事業、家庭教育講座の開催

○学校支援事業 …日本文化体験教室、茶道体験教室、リサイクル工作教室、紙芝居教室、文化祭体験教室、読み聞かせ教室、喫煙防止教室、環境学習教室、昆虫学習教室、植物学習教室、邦楽体験教室

○家庭教育事業 …家庭教育講座、子育て講演会

・情報通信教育事業

【情報通信教育委員会】(委員10名、年6回)

◎情報化社会の利便性と危険性を学習する機会を小中学生や保護者に提供

○情報通信教育 …アンケート実施と集計結果の考察、小学校2校で講座を開催

◆青少年問題協議会の開催 (年2回)

◆少年補導会議の開催 (年4回)

◆常勤補導員の町内巡回 (月～金曜日午後1時から6時)

◆少年補導員の町内巡回 (毎月第2・4土曜日)

評価

豊かな心を育む町民会議の各種事業を通して、子どもたちが人間として調和のとれた成長を遂げることができる環境について、共通理解を図っている素晴らしい事業である。

従来の3委員会(人権・体験・学校家庭支援)の事業は引き続き事業を推進している。更に、今年度は新たに「情報通信教育委員会」を設置し、情報化社会の利便性と危険性を学習する機会を小中学生及び保護者に提供するとともに、安易に携帯電話を所持しない・所持させない判断力や、情報化社会を確かに生きる力を養うことを目的として、アンケート調査を実施し現状と今後の方針を考察しており、今後の事業に生かされたい。

また、定期的に街頭補導巡回を行い、青少年の健全育成に努めており、今後も継続していくことが大切であると考えます。

②式典の開催

大人、社会人としての識見と法の遵守を自覚する契機及び健全な青年として生きるべく、将来への励みを与える機会として成人式を開催する。また、14歳の少年、少女が自ら将来の志を立て、次代を担う者としての自覚と健康な心身をつくることを目標に、祝い励ます機会として立志式を開催する。

平成21年度の主な取組

◆成人式 (909,248円)

平成22年1月10日(日)午前10時～

会場:内灘町文化会館

参加対象者数352名 参加者数296名 参加率84.1%

◆立志式 (72,000円)

平成22年2月2日(火)午後1時30分～

会場:内灘町文化会館

参加対象者数 内灘中学校2年生294名

評価

成人式においては、新成人の中から式典委員(6人)を選考し、第1部式典、第2部アトラクションの進行を自主的に執り行っている。成人式で内灘町の成人者が会場に一堂に集い交流を深めることで、将来の励みの機会となっており、一層多くの参加を望むものである。

立志式においては、人生に目標を持ち、それに向って精進することの大切さを、一人ひとりが自覚するとともに、将来の夢、希望を記念文集として作成していた。

これらは共に人生の節目の式であり、成長のための儀式としての役割を果たすと共に、これまでの自らの歩みを振り返り、今後の方向を見据える大切な機会となっている。今後も工夫を重ね継続していく必要があると考える。

③交流事業の推進（平成21年度重点目標（3））

各種イベントを通して、地域間交流・世代間交流・国際交流を推進し、互いの親睦を図る。

平成21年度の主な取組

◆世界の凧の祭典（7,300,000円）

「第21回 内灘町世界の凧の祭典」

- ・第21回日本海凧揚げ大会
- ・第31回日本の凧の会国際凧揚げ大会
- ・第18回スポーツカイト日本海チャレンジ

5月3日(日・祝)子ども凧コンテスト、スポーツカイト競技

5月4日(月・祝)凧揚げ大会

項目	平成21年度
海外招待者	6名
町外参加者	329名
町内参加者	1,169名
町補助金	7,300,000円

◆子ども凧遊び大会（720,000円）

「第14回 内灘町子ども凧遊び大会」

平成21年10月10日(土)

会場:勤労者体育センター(雨天の為)

- ・凧揚げ
- ・アトラクション(竹とんぼ大会)

項目	平成21年度
テーマ凧	牛の凧
大会参加者	61名
町補助金	720,000円

◆内灘砂丘フェスティバル（1,500,000円）

平成21年11月22日(日)

会場:内灘町文化会館 大ホール

第1部 大塚清吾氏・井上卓也氏による対談

「内灘砂丘からシルクロードへ～詩想の軌跡～」

第2部 金井英人ユニット

アランフェス協奏曲・シルクロードの詩 ほか

項目	平成21年度
入場協力者数	819名
町補助金	1,500,000円

◆町民夏まつり (5,500,000 円)

「第33回内灘町民夏まつり」

平成21年7月25日(土)

場所 内灘町総合グラウンド 他

○総合体育館 保育園児納涼盆おどり

○総合グラウンド

各種イベント(キリコ、ジャズバンド、太鼓、フラダンス)

はまなす歌謡祭2部(野村将希、小室良、沢田玲子、相川美保)

花火の祭典

項目	平成21年度
入場者数 (総合グラウンドのみ)	10,000人
町補助金	5,500,000円

◆姉妹都市交流事業(831,230 円)

平成21年8月2日(日)～8月5日(水)

内灘町から北海道羽幌町へ町内小学5年生を派遣。(団員15名、引率者3名)

・両町の歴史・文化等を互いに紹介し合い交流を深めた。

・羽幌町、旭川、札幌視察研修

評価

世界の凧の祭典は、生涯学習の場としてコミュニティ醸成を主目的として実施している。町内参加地区においては、地域づくりのための実践活動の場として、また金沢市など町外の交流地区との地域間交流の場としても活用されている。また、平成20年度より実施している「平和宣言」は、会場である内灘海水浴場が試射場跡地であることから平和の尊さを内灘闘争の場から発信するという地域特性を発揮できる機会ともなっている。

子ども凧遊び大会においては、小学生以下の子どもたちが参加し、大会を通じて多くの子どもたちがふれあいを深めるとともに、物づくりをする楽しさを感じ、親子の一層の絆を深める機会となった。

内灘砂丘フェスティバルにおいては、町民主導のイベントとして定着したと思われる。今回は、内灘砂丘からシルクロード～詩想の軌跡～と題し大塚清吾氏、井上卓也氏による対談と金井英人ユニットによる演奏を行い内灘の再発見と共にその素晴らしさを実感する企画であった。今後はこの事業の掲げる3つの理念を心に事業を継続するよう期待する。

町民夏まつりにおいては、あいにくの雨天によりおどりの夕べが中止となったが、花火の祭典、はまなす歌謡祭等を開催し、総合グラウンドは約10,000人の入場者で賑わい、町民相互の親睦交流が図られた。

姉妹都市交流事業は、従来のスポーツ交流から初の文化交流となり、子ども達が両町の歴史、文化を学ぶ様子から、青少年交流の重要性を再確認する機会となった。

これらの各事業は、町を象徴する事業であり、町民との協働により行われているが、今後も町民主導の事業展開を図る必要がある。

2. 生涯学習の推進

①地区公民館事業（平成21年度重点目標（3））

地域住民の様々な学習機会の提供を支援し、地区公民館活動の充実を図る。また、地区公民館の保全と環境整備を図る。

平成21年度の主な取組

◆地区公民館補助事業（10,927,750円）

・一般管理運営費(17公民館)	8,887,750	円
・各種事業補助金(17公民館)	1,020,000	円
・通信補助金(17公民館)	1,020,000	円

◆地区公民館施設改修（2,999,640円）

・地区公民館修繕	2,952,390	円
・有線放送施設修繕	47,250	円

評価

自治公民館として、地域の主体性を尊重しながら、教養の向上、健康づくり、青少年健全育成等、地域に根ざした事業の推進を図っている。また、公民館の施設及び設備の修繕を行い、施設維持の適正化を図っていた。

各施設の老朽化に伴う修繕が予想されるが、今後まちづくりという大きな視点で公民館のあり方が検討される中で、町会・区会との協議検討の必要性もあるが、地域づくりの拠点施設として公民館のさらなる充実を図っていく必要があると考えている。

②学習機会の充実（平成21年度重点目標（4））

生涯学習推進基本構想「学びの風 ビジョン21」に基づいて、一人一人の町民が生きる喜びと、明るく心豊かな地域社会の創造をめざし、町民の生涯学習を支援する。

平成21年度の主な取組

◆主な社会教育関係団体への支援(補助金一覧)

(単位:円)

補助金名	金額
子ども会連絡協議会活動補助金	400,000
壮年会協議会活動補助金	100,000
文化協会活動補助金	1,800,000
PTA連合会活動補助金	200,000
女性団体連絡協議会活動補助金	80,000
連合女性会活動補助金	750,000

◆学びの風推進協議会（年5回）

生涯学習推進基本構想を具現するための方策、また生涯学習関連各種施策を協議し推進する。

- ・子どもが本に親しむ環境づくりの一環として「子ども読書感想文コンクール」の実施。

（応募者 2, 219人）

- ・「内灘の豊かな自然を中心とした郷土の歴史の学び」について提言。

◆高齢者学級

高齢者学級「はまなす大学」を開催し、高齢者の生涯学習を推進する。

- ・期間:平成 21 年5月から平成 22 年3月まで

- ・回数:13 回・参加人数:延べ1, 823名

※別表 I 参照

◆内灘砂丘文芸スクール

生涯学習の環境づくりのひとつとして、文学に関する様々な学びの場を提供し、文学の町うちなだを町内外に発信する。

運営委員 大学教授等5名

- ・実践コース(13名) 小説・随筆・詩・脚本など幅広く文章の創作について学ぶ。

期間 1年 開催日 年2回(7月11日・12月13日)

- ・鑑賞コース(1回目11名・2回目6名) 文学散歩を行いながら講師による案内のもと各作家を専門的に学ぶ。

期間 1年 開催日 2回(6月13日/金沢三文豪・3月13日/五木寛之)

◆陶芸教室

手づくり法による日本陶芸について、本焼きまでの過程を実習し、焼物の歴史も学ぶ。

- ・期間:平成21年4月～22年3月 毎週水曜日

- ・回数:46回

- ・参加人数:延べ1, 480人

◆働く女性の家事業

働く女性等に対して、各種講座・実習等を実施し、日常生活を支援することを目的とする。

(単位:回、人)

働く女性の家主要事業			働く女性の家自主グループ		
講座名	回数	参加人数	サークル名	回数	参加人数
リフレッシュヨガ	4	87	ヨガ(夜)	41	765
ネイル講座	1	12	アートフラワー	14	65
行楽弁当	1	9	太極拳	41	194
治部煮	1	9	エイジレス体操	38	476
はす蒸し	1	9	パッチワーク	15	112
だいこん寿司	2	30	ヨガ(昼)	33	780
みそ作り	1	15	華道	46	277
スクラップブック	2	16	籐	18	72
3B体操	19	235	ペン習字	23	251
女性の健康について	1	15			
総 数	33	437	総 数	269	2,992

◆国際交流事業

国際交流員とSwitchうちなだ(ボランティア)が中心となり、町民と外国人の交流を企画し実施する。

・JAPAN TENT

平成21年8月23日(日)～8月26日(水)

留学生 16名、受入家庭 13家庭

内灘を紹介しながら、日本家庭での交流を深めた。

・国際交流サロン

開催回数:8回、参加者:延べ160人

地域の外国人と町民との交流の場を提供して、相互の理解を深めた。

・英会話教室

開催回数:初級、中級 30回

参加者:延べ379人

町民に対し、外国の文化を紹介及び英会話教室を実施した。

外国語に親しむ為、外国語スピーチの場とヒアリングの機会を与えた。

・スピーチフェスティバル

平成 22 年 3 月 20 日 (日)

発表者:小学生94名、中学生5名、高校生11名、外国人(日本語部門)5名、一般・オープン英語3名

・学校訪問

学校と打ち合わせをしながら、児童と交流し国際理解を推進した。

評価

学びの風推進協議会においては、町民主体の、時代のニーズに則した生涯学習の振興に関しての施策について協議・提言を行っており、提言に基づいた施策の展開を図ってきている。

高齢者学級「はまなす大学」においての高齢者の健康で生きがいある生活のための各種講座は、今後高齢社会を迎えるに当たり重要な事業であると考えます。

文芸スクールは、町の文学振興に貢献してきたが受講者の自立的活動等への見直しの時期と考える。

陶芸教室においては、陶芸を通して生涯学習の推進を図っており、多くの人が陶芸に親しむ機会となっている。

働く女性の家事業においては、多種多様な講座により広く女性の生涯学習の推進に寄与した。

国際交流事業においては、町民が気軽に参加し関心をもてる企画をボランティアと共に考え、PRしたことによって、多くの町民がイベントに参加し、交流や相互理解を深めることができた。

これらの事業は、多くの町民の参画により行われているが、今後はより一層高齢化、国際化、情報化などの社会の動きに沿った町民のニーズを把握し、生涯学習の振興に取り組む必要がある。

③図書館 (25,476,255 円) (平成 21 年度重点目標 (4))

町民の図書その他資料に対する要求に応え、時代に適応した豊富な各種図書資料の収集と情報整備を図り、町民の文化・教養・調査に資する。

平成 21 年度の主な取組

◆図書館事業

(単位:冊)

内訳	20年度末 蔵書数	受入冊数			除籍冊数	21年度末 蔵書数	21年度 貸出冊数
		購入	寄贈	計			
一般書	71,256	2,714	78	2,792	1,642	72,406	116,636
児童書	30,978	745	103	848	1,353	30,473	48,504
郷土資料	5,892	59	120	179	19	6,052	1,375
視聴覚資料	2,060	84	9	93	24	2,129	3,946
計	110,186	3,602	310	3,912	3,038	110,060	170,461

評価

図書館は、町民自らの学びの場として、生涯学習の中心的役割を担う施設である。本館の蔵書数は11万1千冊であり、保管スペースは既に飽和状態となっている。また貸出し冊数は約17万冊を超えており、現状の職員数では健全な管理や事業運営に支障の生じる事が懸念される状況にある。

今後とも蔵書の蓄積に努め、サービスの向上を図り、読書活動の推進における保育所や小中学校、読書会やボランティア団体等との連携・協力を図っていくことが大切であり、そのためには図書館の施設の拡充と職員の交流が必要と考えている。

3. 芸術文化の高揚

①芸術文化の振興（平成21年度重点目標（3））

日常生活の中で文化に親しみ、芸術文化を行えるよう拠点となる施設の拡充を推進するとともに、活動や発表の場の確保、優れた芸術・文化作品に親しむ機会の確保に努める。

平成21年度の主な取組

◆アカシアロマンチック祭

平成21年5月17日(日)

会場: 林帯遊歩道及びハマナス恐竜公園

参加団体数: 30 団体(各単位協会及び各種団体等)を予定していたが雨天の為、中止となる。

◆内灘町美術展・内灘町ジュニア美術展

平成21年11月7日(土)～14日(土)

会場: 内灘町庁舎町民ホール及びギャラリー

出展作品数: 美術展 92 点、ジュニア美術展 1,852 点、来場者数: 4,500 人

美術展では、書・絵画・工芸・写真の4科で力作が出品された。ジュニア美術展では、書・絵画の2科で数多くの作品が出品された。

◆内灘町総合文化祭

平成21年11月7日(土)～8日(日)、15日(日)、22日(日)

会場: 内灘町文化会館及び地区公民館

参加団体数: 29 団体(各単位協会及び各種団体等)、延べ参加人数: 2,000 人

芸能発表、かるた大会、将棋大会、囲碁大会、金沢市との公民館文化交流(松寺公民館・押野公民館)などを開催した。

◆作品展

平成21年11月7日(土)～15日(日)

金沢市の公民館との作品交流展(金沢: 松寺、押野、大徳、崎浦 内灘: 向栗崎、千鳥台、大根布、アカシア)

平成21年11月10日(火)～14日(土)

「内灘の朝日・夕日写真展」「内灘を描こう展」

◆内灘町文化会館事業

平成 21 年度内灘町文化会館利用状況

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1F	5	7	8	12	7	9	7	16	2	8	5	0	86
大ホール	780	975	3,775	2,580	1,355	4,330	1,820	1,890	80	2,550	1,390	0	21,525
1F	11	9	13	8	7	6	9	11	5	6	10	9	104
講義室	85	65	190	70	60	60	75	115	35	50	105	95	1,005
1F	6	9	15	8	6	9	12	13	10	6	11	10	115
和室、茶室	100	130	310	75	45	110	235	225	145	155	215	145	1,890
2F	18	13	17	18	10	8	21	25	18	12	17	21	198
会議室	185	190	300	150	80	105	255	690	205	150	345	185	2,840
2F	10	10	12	24	26	4	12	20	7	1	15	9	150
集会展示室	315	220	405	645	780	65	280	660	415	40	530	285	4,640
3F	6	8	7	3	9	3	4	17	6	10	12	6	91
視聴覚室	325	380	665	310	520	270	360	895	320	1,340	1,830	540	7,755
合計	56	56	72	73	65	39	65	102	48	43	70	55	744
	1,790	1,960	5,645	3,830	2,840	4,940	3,025	4,475	1,200	4,285	4,415	1,250	39,655

(上段:回数、下段:人数)

評価

平成21年度は残念ながら雨の為中止となったが、アカシアロマンチック祭は、アカシアの花薫る5月の林帯遊歩道を舞台に、町民と文化協会員によって開催される芸術文化の祭典である。これは、内灘町の持つ自然財産であるアカシア林と、文化協会員の提供する文化活動が融合したユニークな祭りであり、内灘町が他に誇りうる文化事業である。

美術展・ジュニア美術展は、子どもから大人までの幅広い層による、町最大の美術展であり、町民が芸術・文化に親しむ貴重な機会となっている。

総合文化祭では、町文化協会加盟団体による芸能発表や各種大会が行われている。また、近年は金沢市との文化交流により、展覧会等、発表機会の拡充に加えて、文化活動による地域間交流の推進がなされている。

これら各事業は、町民主導の事業であり、今後も支援していく必要があると考えている。

内灘町文化会館は、町の「文化の殿堂」として多くの人が集い利用する施設であり、今後も適正な維持管理を図っていく必要がある。

②文化財の保護

町内の有形・無形の文化財を貴重な文化遺産として継承するため、重要な文化財については指定等の保護措置を講ずるとともに、それを保存するための施設を拡充し、広く町民に公開する。

平成 21 年度の主な取組

◆指定文化財

種 別	名 称	場 所	指 定 年 月 日
建 造 物	小濱神社・本殿	大根布3丁目157	昭和53年11月1日
書 跡	村御印	内灘町歴史民俗資料館蔵	昭和58年7月1日
考 古	把手付鉢	内灘町歴史民俗資料館蔵 (齋藤家寄託)	昭和47年8月17日
史 跡	小濱神社・社趾	宮坂(権現森海岸)	昭和47年8月17日
史 跡	室青塚	西荒屋への部61	昭和61年10月1日
古 文 書	木谷藤右衛門家関係資料	内灘町歴史民俗資料館蔵	平成12年9月22日
天然記念物	シロチドリ	内灘町海岸線一帯	昭和47年8月17日
天然記念物	イカリモンハンシヨウ	内灘町海岸線一帯	昭和47年8月17日
天然記念物	権現森ハマナス・イヌシメ群生地	宮坂(権現森海岸)	昭和47年8月17日

◆伝統文化・芸能の伝承

・無形文化財保存育成補助金・大根布奴行列(81,000 円)

・民俗文化保存育成補助金・向栗崎悪魔祓い(81,000 円)

内灘町に古くから伝わる伝統芸能について、補助金を交付し保存育成に努めた。

評価

郷土に根ざした文化財は、先人たちが残してくれた価値あるものとして後世に継承していく必要がある。内灘町には、指定文化財として天然記念物をはじめ9件の指定があり、特に自然環境の影響を受ける動植物が海岸線付近に生息している。砂浜の侵食や自動車の乗り入れによる環境破壊が懸念され、今後は砂丘に位置する海岸動植物保護地区の保存管理の強化が必要と考えている。

4. スポーツ活動の振興

①スポーツ活動の推進（平成21年度重点目標（2））

町民一人ひとりが「いつでも」「どこでも」「いつまでも」積極的にスポーツを親しむことで、生涯スポーツの振興を図り、健康で明るく豊かな生活の実現を目指す。

平成 21 年度の主な取組

◆町民体育祭

第55回町民体育祭 約3,000人参加

◆総合体育大会

第26回総合体育大会の開催

19競技種目 約1,000人参加 大会開催は体育協会に委託

◆県民体育大会

第61回石川県民体育大会に参加(冬季スキー競技含む)

珠洲市主会場 28競技種目 550人参加

男子総合の部 第10位 女子総合の部 第10位

◆チビっ子スポーツ教室 (体育指導委員 22名)

1～6年生対象に遊びながら助け合う心、我慢する心を養うとともに、スポーツの喜び、楽しみを体験する。前期 5月24日～8月2日 6回 親子グラウンドゴルフ、一泊研修他

後期 10月11日～2月14日 7回 親子バス遠足、スキー研修他

◆スポーツ振興補助金内訳

(単位:円)

補助金名	金額
体育協会活動補助金	1,350,000
スポーツ少年団活動補助金	1,100,000
総合型地域スポーツクラブ活動補助金	1,350,000

評価

総合型スポーツクラブ「プラッツ」をはじめ、体育協会、スポーツ少年団、体育指導委員が連携を図り、生涯にわたる健康や体力の保持増進と豊かな生活の実現を目指し、子どもからお年寄りまで身近なスポーツ・レクリエーション活動を楽しめる機会を積極的に提供している。

又、「総合型地域スポーツクラブ」プラッツは、そのような誰もが継続してスポーツを楽しむ環境づくりの中心を担うものとして設立されたが、その存在自体が町民の中に浸透していない状況である。今後更に設立趣旨に則った魅力的な企画での事業展開を期待するものである。

今後とも、安全で快適なスポーツ・レクリエーション活動が行えるよう体育指導委員をはじめとした指導者の発掘・養成を図っていく必要があると考える。

②スポーツ施設の整備・充実 (平成21年度重点目標(2))

施設を有効に活用し、施設の改善に努めるとともに、スポーツ人口の増加にともない町民のニーズに応える体育施設の整備を図る。

平成21年度の主な取組

◆体育施設整備事業

町勤労者体育センター改修工事 (8,368,500円)

町武道館トイレ改修工事 (3,601,500円)

◆体育施設管理委託事業

財団法人内灘町公共施設等管理公社に委託 (46,367,000円)

NPO法人スポーツクラブ プラッツうちなだに委託 (15,609,000円)

評価

スポーツ施設の維持、管理と充実を図った。小・中学校の体育施設を開放することにより、町民のスポーツ活動に寄与した。

又、各社会体育施設管理を指定管理者への委託事業としているが、今後も効率的、効果的な運営を図るとともに、より良いサービスの提供をする必要があると考える。

別表 I

はまなす大学(高齢者学級)

開催年度	年間開催数	会員数	のべ参加者数
平成21年度	13回	236人	1,823人
平成20年度	15回	248人	2,206人
平成19年度	15回	249人	2,089人
平成18年度	15回	250人	2,111人
平成17年度	15回	290人	2,554人
平成16年度	15回	292人	2,707人
平成15年度	15回	279人	2,614人
平成14年度	15回	294人	2,569人
平成13年度	15回	296人	2,361人
平成12年度	15回	291人	2,307人
平成11年度	15回	308人	2,190人

IV 学識経験者の知見の活用

平成22年度(平成21年度対象)の点検及び評価を行うにあたって、金沢大学地域連携推進センター浅野秀重教授より以下の指導及び助言を受けました。

金沢大学地域連携推進センター
教授 浅野秀重

はじめに

内灘町が推進しようとしている教育は、「教育基本法に基づき、それぞれの個性を認め合い公共の福祉を尊重するとともに、生涯を通じて真理を追究し平和を愛する心豊かな人間の育成と、郷土の歴史や自然に根ざした文化の創造を目指し、未来を切り開く教育」であるとされています。

この立場、視点に立って学校教育、社会教育・生涯学習、芸術文化、スポーツ活動等の推進、充実、高揚、振興が図られようとしています。

ところで、教育について語ろうとするとき、一般に教育する側の者と教育される側の者の存在が前提とされがちではありますが、自己教育という言葉があるように、自らが自らに働きかけ自らが持っている発達可能性を外へと導き出すという面もあります。また、教育と同様に「学習」という言葉も用いられます。教育される対象者という捉え方ではなしに、学習の主体としての立場から見ようとするもので、「学習」をあえて「学び」としますが、この「学び」について、ユネスコは、知るための学び、行動するための学び、ともに生活するための学び、人として存在し続けるための学び、などの側面を「学び」に見出すことができるとしています。

「学び」は、より成熟した「ひと」となるための、昨日と違う今日の自分、今日と違う明日の自分づくりに向けた営みであり、生涯にわたって「ひと」に期待される営みと考えることができます。そうした学びがあらゆる場所で、あらゆる機会でも可能となるような環境を醸成することが行政には期待されているといっても良いのではないのでしょうか。

周知のとおり、こんにち、行政施策の推進に当たっては、いわゆるPDCA(Plan-Do-Check-Action)サイクルの考えが導入され、自己点検・自己評価の取り組みが進められています。このことは、地域住民に対する説明責任を果たすとともに、評価結果を新たな施策の推進に活かし、その利益を地域住民が享受できるような仕組みづくりに役立てることと思われれます。

事業や施策実施の必要性、緊急性、優先性、効率性、公平性、公益性など様々な視点に立って自己点検・自己評価を行い、より良い事業や施策の実施で、多くの住民が内灘町に住み、暮らし、学ぶことの良さを実感することのできる教育行政を通じたまちづくりを推進して下さるよう期待いたします。

教育委員会所管の実施事業について

I 学校教育

1 より良い学校づくりの推進

子どもたちが、安全で安心して学習活動に取り組むことができるよう、耐震補強工事の全学校での完了、ICT教育環境の整備、学校給食が有する教育性の顕在化、幼保・小連携事業の実施、エコスクールの推進による環境教育・ESDへの取り組み、個性ある学校づくり・研鑽・学習成果の発表・外国語学習活動等への補助金交付、さらに学校の安心安全体制確保のためのネット環境の整備など、積極的に児童・生徒及び教職員のための教育条件の整備に取り組んで来られたと思います。

とくに、各種大会への参加・出場支援となる補助金の交付は、たとえ個人の出場であっても町の代表、学校の代表としての要素が強く、これを町がバックアップすることは大切なことと思われまます。今後ともより良い学校づくりとなる可能性がある判断される取り組みには、積極的な支援や奨励が行われますよう期待します。

2 基礎学力の習得・充実

児童・生徒が学習マナーや約束事を守ることの意義などをしっかり身につけることは、子どもたちの「生きる力」や学力を育む上で、基本的なことです。そのために町単独で人員（講師）を確保し、少人数学級を編成する試みは、子どもたちにきめ細かい教育を行うことになるものと思われ、漸次的に中学年・高学年への導入についてもご検討を望みます。

英語教育については、教材のあり方、指導方法などについても工夫と改善を図り、子どもたちが英語に慣れ親しむ英語活動から徐々に英語「学習」へと移行する取り組みに努められるよう期待します。

また、図書貸し出し冊数が増加傾向の背景には、司書配置があると容易に推認できるように、人的な配置が本に親しむ環境の整備となり、これらは子どもたちの豊かな心育て、豊かな感性育てとなっているのではないのでしょうか。

不登校や学校生活に適応困難な児童・生徒、特別な支援を必要とする子どもたちの学習面や行動面での支援のために、特別支援教育支援員を配置したり、心の教育相談員を配置する取り組みについては、今後とも強力に進めていただきたいと思います。

3 就学前教育支援制度の充実

幼児教育の充実に対する就園奨励費補助や幼稚園への運営費補助などの予算措置も、現下の経済・社会状況からしても継続・充実を期待します。

II 社会教育・生涯学習

4 社会教育の充実

次代を担う青少年を健全に育てることは、彼らよりも先行して生きる大人の役割であるとともに使命でもあります。豊かな心を育む内灘町民会議を設置して、人権教育、体験学習、学校家庭支援、情報通信教育に係る活動の推進など地道で継続的な活動は、子どもたちに豊かな心を育てる上で重要な取り組みになっていると思われま

す。地域には、青少年のより良い育成に関心を寄せるNPOを含む様々な団体や機関が存在していると思われ、こうした団体や機関が連携するとともに、必要に応じて行政とも協力・協働して青少年の育成に当たっていくことが求められます。

また、成人や立志を迎えた方を対象に行われる式典等は、国家・社会の形成者としての自分を見つめ、人生における区切りを自覚していただく大事な学びの機会でもあるのでさらにその内容や方法についてご検討いただきたいと思

います。併せて、凧の祭典、砂丘フェスティバルなど、内灘町ならではの各種イベントも地域間交流、住民間交流、国際交流の促進など、コミュニティ形成に欠かせない「つながり」や「絆」育てとなるものと思われま

5 生涯学習の振興

す。また、凧の祭典での「平和宣言」も国際情勢が緊迫する状況が見られる中、改めてその意義をかみしめたいものです。

時宜や住民ニーズに適った学習機会の提供など、市民の生涯にわたる学習活動を支援することは、活力ある内灘町を町民ぐるみで創っていくうえで、大きな役割を果たします。様々な学びや体験、交流等の場に自らの身を置くことで「ひと」は「ひと」として成長し・発達することができます。そうした学びの雰囲気

が満ち溢れた内灘町づくりを今後とも進めていただきたいと思

内灘町の生涯学習・社会教育そして地域づくりを考える上で、地区公民館は重要な役割を果たしていることはいままでもないことですが、公民館は、地域における重要な学習の拠点であるとともに地域づくり等の活動の拠点としての機能の発揮が期待されるコミュニティの施設です。

そうした学びの雰囲気

限られた職員での運営という困難さはあるかもしれませんが、地域の明日を創る「担い手」育て、地域住民のつながり形成に資する事業や講座の開設への取り組みを期待します。

さて、蔵書によって飽和状態の図書館、職員集団の対応能力をはるかに超える貸し出し冊数など町立図書館の将来方向を検討する必要性がきていると思われる状況があります。それは、利用者たる町民の利便性を図ることになるのかもしれないので、検討のための組織の設置を求めたいと思

6 芸術文化の高揚

文化祭や美術展など、町民が文化や芸術に関する機会に接したり、発表の機会を得ることは、町民の豊かな感性を育てたり、長きにわたって培ってきた学びの成果や経験を活かす場を提供することにもなるので、さらなる支援や参加の奨励に努めてくださるようお願いしています。

また、町、そして全町民の共有の財産でもある自然・文化財、伝統文化などは、町にとっての「良きもの」であり、その保全・継承・活用・広報に努められることを期待します。

7 スポーツ活動の振興

競技スポーツであれ、生涯スポーツであれ、町民がスポーツに親しむことのできる機会である町民体育祭、スポーツ活動・団体などへの継続的支援、スポーツ施設の整備・充実を促進するなど、町民が気軽にスポーツへ親しみ、生きがいづくりや健康・体力づくりにつなげることができるよう、スポーツ活動の普及・振興にさらに取り組まれるよう期待します。

教育委員会活動

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律上、およそ教育全般にわたる職務権限を有する行政委員会であり、定例会や臨時会において決すべき議案も多岐にわたるものと思量します。

内灘町の教育活動のさらなる活性化、まちとしての内灘の魅力の掘り起こしや発信に資するような教育事業の展開にも大きな役割を発揮してくださるよう期待しています。

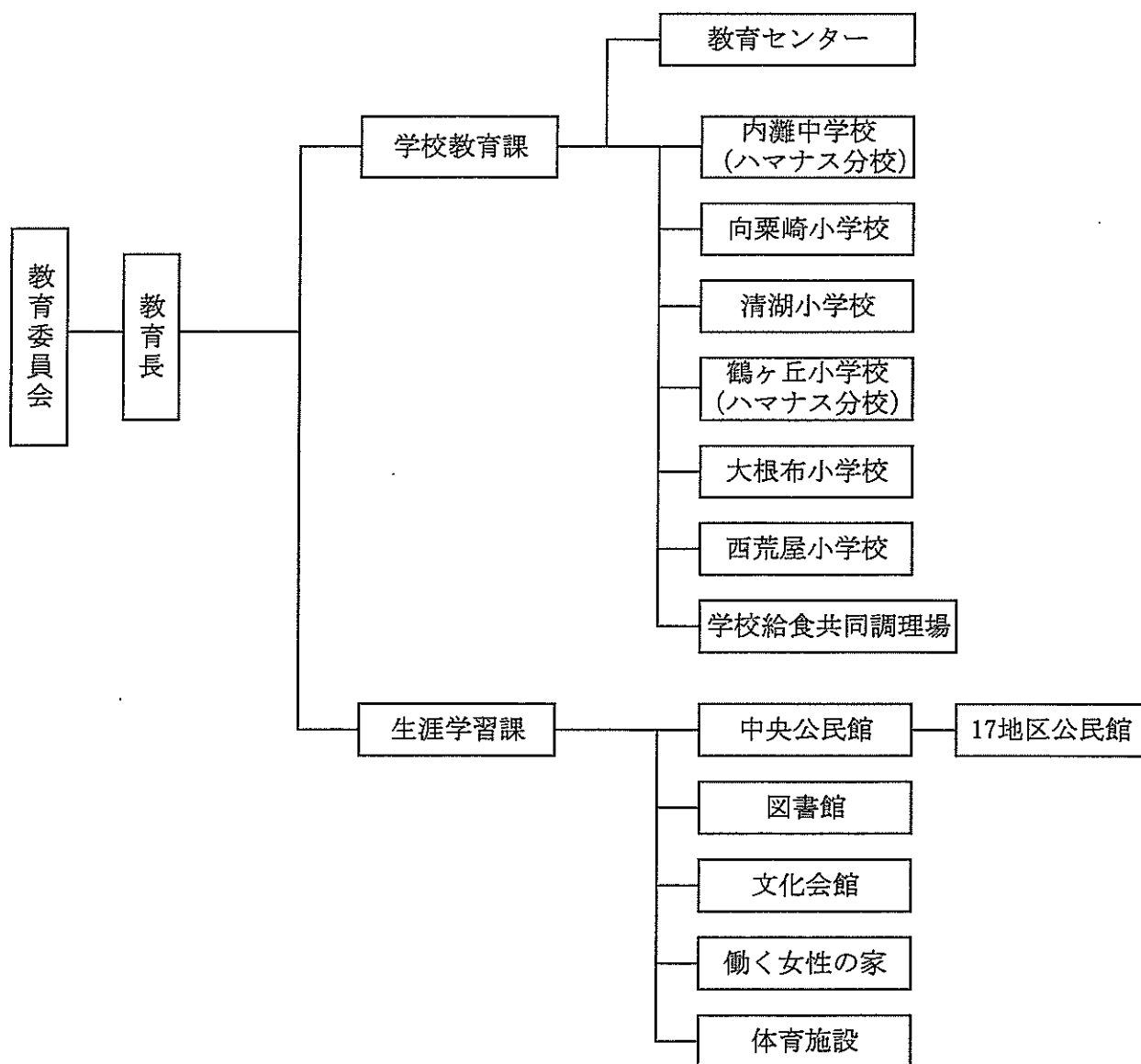
V その他資料

① 教育委員会委員

(平成22年10月1日現在)

委員区分	氏名	1期目の	今期の	
		就任年月日	就任年月日	満了年月日
委員	むらた ひろこ子	16. 3. 19	21. 10. 1	25. 9. 30
委員長職務代理	たむら 兼と人	20. 10. 1	20. 10. 1	24. 9. 30
委員	こじま 晶き子	17. 10. 1	21. 10. 1	25. 9. 30
委員	が 菅 原 総子	22. 10. 1	22. 10. 1	26. 9. 30
教育長	にし 尾 雄 次	19. 12. 22	19. 12. 22	23. 12. 21

② 教育委員会の組織



③ 教育委員会活動の概要

(1) 学校訪問 (前期)

- ・平成 21 年 5 月 21 日 (木) 鶴ヶ丘小学校ハマナス分校・内灘中学校ハマナス分校
- ・平成 21 年 6 月 8 日 (月) 西荒屋小学校 (B 訪問)
- ・平成 21 年 6 月 9 日 (火) 向粟崎小学校 (A 訪問)
- ・平成 21 年 6 月 18 日 (木) 大根布小学校 (A 訪問)
- ・平成 21 年 6 月 23 日 (火) 清湖小学校 (B 訪問)
- ・平成 21 年 6 月 25 日 (木) 鶴ヶ丘小学校 (B 訪問)
- ・平成 21 年 7 月 3 日 (金) 内灘中学校

(2) 学校訪問 (後期)

- ・平成 21 年 10 月 15 日 (木) 大根布小学校 (B 訪問)
- ・平成 21 年 10 月 20 日 (火) 向粟崎小学校 (B 訪問)
- ・平成 21 年 10 月 27 日 (火) 清湖小学校 (A 訪問)
- ・平成 21 年 11 月 6 日 (金) 内灘中学校
- ・平成 21 年 11 月 24 日 (火) 鶴ヶ丘小学校 (A 訪問)
- ・平成 21 年 12 月 7 日 (月) 西荒屋小学校 (A 訪問)

(3) 各種行事

平成 21 年 4 月 1 日	教職員辞令交付式
平成 21 年 4 月 6 日	内灘町立小・中学校入学式、ハマナス分校入学式
平成 21 年 5 月 3・4 日	世界の凧の祭典
平成 21 年 5 月 7 日	河北郡市教育委員会連合会定期総会
平成 21 年 5 月 8 日	石川縣市町教育委員会連合会定期総会
平成 21 年 6 月 7 日	町民体育祭
平成 21 年 7 月 25 日	町民夏まつり
平成 21 年 8 月 29～31 日	県外視察研修 (岡山・京都方面)
平成 21 年 10 月 16 日	石川縣市町教育委員会連合会研究大会 (白山市)
平成 21 年 10 月 24 日	町 P T A 大会
平成 21 年 11 月 1 日	いしかわ教育の日記念大会
平成 21 年 11 月 2 日	内灘中学校創立 50 周年式典
平成 21 年 11 月 3 日	町表彰式
平成 22 年 1 月 10 日	成人式
平成 22 年 2 月 2 日	立志式
平成 22 年 3 月 13 日	内灘町立内灘中学校卒業式
平成 22 年 3 月 15 日	ハマナス分校卒業式
平成 22 年 3 月 18 日	内灘町立小学校卒業式
平成 22 年 3 月 29 日	教職員離任式

④ 内灘町教育委員会開催状況

開催日	議案番号	審議決定事項
H21. 4. 27	議案第 9 号	内灘町立学校評議員会設置要綱の一部改正について
	議案第 10 号	内灘町教育委員会規則等で定める様式における敬称の取扱いの特例に関する規則について
	議案第 11 号	内灘町社会教育委員の委嘱について
	報告第 4 号	平成 21 年度小中学校学級編成について
H21. 5. 28	議案第 12 号	平成 21 年 6 月議会補正予算（案）について
	議案第 13 号	学校評議員会評議員の委嘱について
	議案第 14 号	内灘町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について
H21. 6. 12	議案第 15 号	学校給食におけるパン食の異物混入について
H21. 6. 22	議案第 16 号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
	報告第 5 号	内灘町青少年問題協議会委員の委嘱について
H21. 7. 23	議案第 17 号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
	議案第 18 号	平成 22 年度使用中学校用教科書図書採択について
H21. 8. 20	議案第 19 号	平成 21 年 9 月議会補正予算（案）について
	議案第 20 号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
H21. 9. 18	議案第 21 号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
H21. 10. 1	議案第 22 号	内灘町教育委員会組織について
H21. 10. 13	議案第 22 号	内灘町青少年学術文化奨励賞の推薦について
	議案第 23 号	内灘町スポーツ賞の推薦について
	議案第 24 号	内灘町民文化活動賞の推薦について
	議案第 25 号	内灘町社会教育優良団体及び功労者感謝状受賞者の決定について
	議案第 26 号	内灘町就学援助費交付要綱について
	議案第 27 号	内灘町特別支援教育支援員配置要綱について
	議案第 28 号	内灘町心の教育相談員配置要綱について
H21. 11. 27	議案第 29 号	平成 21 年 12 月議会補正予算（案）について
	議案第 30 号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
	議案第 31 号	内灘町立小学校における指定学校の変更に関する取扱要綱について
	議案第 32 号	内灘町立小学校及び中学校における区域外就学に関する取扱要綱について
	議案第 33 号	内灘町公立学校管理規則の一部を改正する規則について
	議案第 34 号	内灘町公立学校の開放に関する規則の一部を改正する規則について
	議案第 35 号	内灘町公立学校体育施設の開放に関する規則の一部を改正する規則について
H21. 12. 22		平成 22 年度内灘町教育予算についての要望書について
H22. 1. 26	報告第 1 号	小中学生の携帯電話の利用状況について
	報告第 2 号	健康煌き熟年大学の内容について
	報告第 3 号	持続発展教育（ESD）について
	報告第 4 号	平成 21 年度内灘町教育センター事業について
H22. 2. 22	議案第 1 号	平成 22 年 3 月議会補正予算（案）について
	議案第 2 号	平成 22 年度当初予算（案）について
	議案第 3 号	内灘町サイクリングターミナル条例の一部を改正する条例について
H22. 3. 25	議案第 4 号	平成 22 年度内灘町教育基本方針について

⑤ 平成21年度学級編成表

(H21.5.1現在)

	学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特学	計
	向栗崎小	児童数	58	69	64	73	87	79	5
	標準学級数	2	2	2	2	3	2	2	15
	実施学級数	〃	③	〃	〃	〃	〃	〃	16
清湖小	学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特学	計
	児童数	54	65	43	49	51	42	2	306
	標準学級数	2	2	2	2	2	2	1	13
	実施学級数	〃	②	〃	〃	〃	〃	〃	13
鶴ヶ丘小	学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特学	計
	児童数	58	70	64	67	82	64	2	407
	標準学級数	2	2	2	2	3	2	2	15
	実施学級数	〃	③	〃	〃	〃	〃	〃	16
大根布小	学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特学	計
	児童数	84	79	83	92	81	88	1	508
	標準学級数	3	2	3	3	3	3	1	18
	実施学級数	〃	☆3	〃	〃	〃	〃	〃	19
西荒屋小	学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特学	計
	児童数	10	18	14	15	12	20	0	89
	標準学級数	1	1	1	1	1	1	0	6
	実施学級数	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	6
小学校計	学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特学	計
	児童数	264	301	268	296	313	293	10	1,745
	標準学級数	10	9	10	10	12	10	6	67
	実施学級数	〃	12	〃	〃	〃	〃	〃	70

内灘中	学年	1年生	2年生	3年生				特学	計
	生徒数	294	292	289				4	879
	標準学級数	8	8	8				2	26
	実施学級数	〃	〃	〃				2	26

○ : 町負担講師配置

☆ : 県費負担講師配置

⑥ 平成21年度 生涯学習課事業一覧

期 日	大会・事業名	会 場	主 催 及 び 共 催
4月9日	子ども会総会	町役場庁舎	町子ども会連絡協議会
4月9日	連合女性会総会	町民ホール	町連合女性会
4月12日	スポーツ少年団合同開講式	町総合体育館	スポーツ少年団
4月15日	文化協会総会	町民ホール	町文化協会
4月16日	体育協会総会	町福祉センター	町体育協会
4月18日	公民館協議会総会	町文化会館	町公民館協議会
4月19日	第7回ジャズフェスティバルin内灘	町文化会館	ジャズフェスティバルin内灘実行委員会
4月25日	壮年会協議会総会	町文化会館	町壮年会協議会
4月30日	町女性団体連絡協議会総会	町役場庁舎	町女性団体連絡協議会
5月3日	第21回世界の凧の祭典 (レセプション)	内灘海水浴場特設会場	世界の凧の祭典実行委員会
5月4日	第21回世界の凧の祭典	内灘海水浴場特設会場	世界の凧の祭典実行委員会
5月8日	スポーツクラブブラッツうちなだ総会	町総合体育館	NPO法人スポーツクラブブラッツうちなだ
5月10日	子ども読書の日記念行事	内灘中学校図書室	図書館
5月15日	はまなす大学開講式	町文化会館	町教育委員会
5月17日	第25回アカシアジョギング大会	町役場周辺	県身体障害者団体連合会等
5月17日	第11回アカシアロマンチック祭	林帯遊歩道・恐竜公園	町文化協会・町教育委員会
5月17日	第36回加賀地区少年柔道大会	町総合体育館	町柔道連盟
5月24日	チビっ子スポーツ教室開講式	向栗崎運動公園・体育館	教育委員会・体育指導委員会
5月24日	町読書会連絡協議会	町文化会館	町読書会連絡協議会
5月24日	文学講演会	町文化会館	町読書連絡協議会
5月26日	働く女性の家第1回運営委員会	働く女性の家	町働く女性の家運営委員会
5月28日	PTA連合会委員会	町文化会館	町PTA連合会
5月30日	子ども会リーダー研修	サイクリングターミナル	町子ども会連絡協議会
5月30日	子ども会指導者・安全会研修	サイクリングターミナル	町子ども会連絡協議会
6月4日	学校図書館・町図書館連絡会	町文化会館	図書館
6月7日	第55回町民体育祭	町総合グラウンド	内灘町
6月9日	児童生徒オーケストラ鑑賞	町文化会館	県・町教育委員会
6月14日	第26回町総合体育大会	町内体育施設	内灘町
6月19日	小学校3年生学級招待	町図書館	図書館
6月20日	第5回ライトダウンキャンペーン	サンセットブリッジ内灘	町連合女性会・壮年会協議会
6月22日	内灘夢教室(開講式)	サイクリングターミナル	豊かな心を育む内灘町民会議
6月23日	第1回図書館協議会	町文化会館	図書館
6月27日	公民館長・主事研修	愛知県	公民館協議会
6月28日	第27回内灘サイクルロードレース	河北潟干拓地	県自転車競技連盟
6月28日	内灘和太鼓どんどこ祭	町文化会館	内灘和太鼓協会・豊かな心を育む内灘町民会議

期日	大会・事業名	会場	主催及び共催
7月4日	ビーチベースボール大会(～5日)	内灘海水浴場	内灘町・北国新聞社・日本ビーチベースボール連盟
7月11日	北陸地区体育指導委員研修会(～12日)	富山県	全国体育指導委員連合
7月25日	第33回内灘町民夏まつり	町総合グラウンド他	内灘町民夏まつり実行委員会
8月1日	第2回図書館講座	町文化会館	図書館
8月1日	チビスポ教室一泊研修(～2日)	サイクリングターミナル	体育指導委員会・教育委員会
8月2日	羽幌町姉妹都市交流(～5日)	北海道羽幌町	町教育委員会
8月8日	第61回石川県民体育大会(～9日)	珠洲市主会場	県体育協会・石川県
8月21日	第2回図書館協議会(視察研修)	滋賀県高島市安曇川図書館	図書館
8月23日	ジャパンテント(～26日)	町内各施設	町教育委員会
8月23日	第28回町子ども大会	町総合体育館、ルネスサンサーカス	内子連・子ども委員会
8月29日	連合女性会リーダー研修	石川北部RDFセンター	連合女性会・教育委員会
9月13日	町読書会連絡協議会文学散歩	志賀町富来	町読書会連絡協議会
9月20日	第21回ツール・ド・のと400(～22日)	能登半島一周コース	ツール・ド・のと400実行委員会
9月27日	内灘町社会教育功労者表彰	町文化会館	町教育委員会・公民館協議会
9月27日	町読書会連絡協議会合同読書会	町文化会館	町読書会連絡協議会
9月29日	秋の交通安全運動女団連マスコット配り		町女団連
10月3日	第3回図書館講座	町文化会館	図書館
10月10日	第14回内灘町子ども風遊び大会	蓮湖渚公園	子ども風遊び大会実行委員会
10月11日	チビスポ教室親子バス遠足	中能登町	体育指導委員会・教育委員会
10月17日	YOSAKOIソーラン日本海	コンフォモール前	YOSAKOIソーラン日本海組織委員会
10月22日	第40回東海北陸社会教育研究大会(～23日)	三重県	東海北陸社会教育委員協議会
10月24日	町PTA大会	町民ホール	町PTA連合会
10月25日	地区公民館文化祭	地区公民館	地区公民館
11月1日	地区公民館文化祭	地区公民館	地区公民館
11月3日	町表彰式	町文化会館	内灘町
11月3日	町スポーツ賞表彰式	町文化会館	町教育委員会
11月3日	町文化活動賞表彰式	町文化会館	町教育委員会
11月3日	地区公民館文化祭	地区公民館	各地区公民館
11月7日	町美術展・ジュニア美術展(～14日)	町役場庁舎	町教育委員会・文化協会
11月7日	第34回町総合文化祭(～8日)	町文化会館	町文化協会・町教育委員会
11月8日	文化協会創立30周年記念式典	町文化会館	町文化協会・町教育委員会
11月8日	ブックリサイクル(町総合文化祭)	町文化会館	図書館
11月8日	町読書会連絡協議会文学散歩	倶利伽羅	町読書会連絡協議会
11月10日	内灘の朝日・夕日写真展、内灘を描こう展	町文化会館	町文化協会・町教育委員会
11月17日	親子パソコン教室(～19日)	清湖小学校	豊かな心を育む内灘町民会議
11月19日	全国体育指導委員研究協議会	山口県	全国体育指導委員連合

期 日	大 会 ・ 事 業 名	会 場	主 催 及 び 共 催
11月22日	内灘砂丘フェスティバル	町文化会館	内灘砂丘フェスティバル実行委員会
11月23日	第89回河北潟一周駅伝競走大会	河北郡一円	郡市陸上競技協会
11月29日	加賀地区女性県政会議	美川町文化会館	石川県婦人団体連絡協議会
11月29日	第10回町民フォーラム	町民ホール	町連合女性会・壮年会協議会
12月5日	第29回県婦人意見発表大会	県女性センター	県婦人団体連絡協議会
12月12日	クリスマスお話し会	図書館	ボランティア
1月10日	成人式	町文化会館	内灘町
1月16日	手作り絵本作品展(～22日)	図書館	北陸児童文学協会
1月24日	スポーツ少年団交流会	町総合体育館	町スポーツ少年団
1月26日	蔵書点検(～29日)	図書館	図書館
2月2日	立志式	町文化会館	町教育委員会
2月5日	石川県公民館長研修	県生涯学習センター	県公民館連合会
2月6日	チビスポスキー泊研修(～7日)	一里野温泉スキー場	町体育指導委員会
2月11日	第62回石川県民体育大会冬季大会	白山市	県体育協会・石川県
2月21日	親子人形劇鑑賞会	町民ホール	豊かな心を育む内灘町民会議
2月21日	読書会連絡協議会合同読書会	町文化会館	町読書会連絡協議会
3月6日	スポーツ少年団リーダー研修(～7日)	サイクリングターミナル	町スポーツ少年団
3月13日	内灘砂丘文芸スクール修了式	町文化会館	町教育委員会
3月20日	内灘スピーチフェスティバル	町民ホール	Switch うちなだ
3月21日	第27回長距離継走大会	サンセットブリッジ内灘周辺	町体育協会

平成22年度（平成21年度対象）
内灘町教育委員会点検・評価報告書

発行 平成22年12月
編集 内灘町教育委員会

〒920-0292

石川県河北郡内灘町大学1丁目2-1

TEL 076-286-6717（直通）

FAX 076-286-6714

URL <http://www.town.uchinada.lg.jp/>